

第78回

トラック運送業界の景況感（速報）

平成24年 4月～ 6月期

平成24年4月～6月期の景況感は、東日本大震災の復興需要による内需の下支え、エコカー補助金などの政策特需により下支えされ、景気の若干の持ち直しがみられた。

しかし一方で、燃料価格は下落に転じたものの、未だ高止まりしており、燃料コスト増の負担が大きい状況にある。

このような中、トラック運送業界の景況感の判断指数は▲45となり、前回（▲49）より4ポイント改善した。指標は改善したが、軽微な改善にとどまった。

今後は、先行きの回復期待が高まっているものの、欧州債務危機に伴う中国経済の減速の影響が見込まれ、景況感改善の基盤は未だ脆弱で、息切れ懸念が伴うものとなっている。業界の景況感の判断指標は、今回から5ポイント悪化の▲50が見込まれている。

平成24年 8月 13日

公益社団法人 全日本トラック協会

1. 今回（平成24年4月～6月期）の状況

①概況

平成24年4～6月期におけるトラック運送業界の景況感は、「好転」とした事業者は10%（前回13%）、「悪化」とした事業者は49%（前回54%）で、判断指標は▲45となり、前回（▲49）より4ポイント改善した。

②特別積合せ貨物

宅配貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が23%、「増加」とする事業者が14%で、判断指標は▲10となり、前回（▲30）から20ポイント改善した。営業収入は「減少」とする事業者が27%、「増加」とする事業者が12%で、判断指標は▲15となり、前回（▲39）よりも24ポイント改善した。営業利益は「減少」とする事業者が21%、「増加」とする事業者が14%で、判断指標は▲6となり、前回（▲57）から51ポイント改善した。

宅配以外の特積貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が34%、「増加」とする事業者が19%で、判断指標は▲16となり、前回（▲32）から16ポイント改善した。営業収入は「減少」とする事業者が39%、「増加」とする事業者が14%で、判断指標は▲28となり、前回（▲42）から14ポイント改善した。営業利益は「減少」とする事業者が37%、「増加」とする事業者が13%で、判断指標は▲24となり、前回（▲58）から34ポイント改善した。

③一般貨物

一般貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が38%、「増加」とする事業者が18%で、判断指標は▲25となり、前回（▲19）から6ポイント悪化。営業収入は「減少」とする事業者が42%、「増加」とする事業者が19%で、判断指標は▲29となり、前回（▲25）から4ポイント悪化した。営業利益は「減少」とする事業者が46%、「増加」とする事業者が14%で、判断指標は▲41となり、前回（▲49）から8ポイント改善した。

④運賃水準

運賃水準は、宅配貨物は▲6（前回▲22）と16ポイント改善し、宅配以外の特積貨物は▲7（前回▲20）と13ポイントの改善、一般貨物は▲23（前回▲24）とほぼ横ばいとなった。

⑤実働率等

実働率は▲22（前回▲18）、実車率は▲17（前回▲15）となり、悪化した。

雇用状況（人手の過不足）は+16（前回+24）と依然として不足感がある。採用状況は▲7（前回▲12）で指標はやや改善し、所定外労働時間は▲11（前回▲10）で指標はほぼ横ばいであった。

保有車両台数は▲6（前回▲6）で指標はほぼ横ばい、貨物の再委託（下請運送会社への委託割合）は▲12（前回▲8）で指標はやや下がっている。

⑥地域別および取扱い品目別

業界の景況感を地域別にみると、東北は相対的に水準が良い。前回から水準を上げているのは中部、中国、北海道、北陸信越である。他方、関東、四国、近畿は、前回より水準を下げています。

事業者の規模別では、規模が小さくなるほど水準が低い傾向にある。

主な取扱い品目別では、いずれも指標を上げているが、特に機械関連貨物が前回に引き続き改善し、最も水準が良い。また、消費関連貨物もやや改善しており、建設関連貨物、その他貨物は横ばいである。

2. 今後（平成24年7月～9月期）の見通し

①概況

平成24年7～9月期の見通しは、業界の景況感の判断指標は▲50で、今回から5ポイント下げる見込み。

②特別積合せ貨物

宅配貨物は、輸送数量は横ばい、営業収入はやや改善する見込みであるが、営業利益はやや悪化する見込み。

宅配以外の特積貨物は、輸送数量はやや悪化する見込み、営業収入はやや改善する見込み、営業利益は横ばいの見込みである。

③一般貨物

一般貨物は、輸送数量は僅かに悪化する見込み、営業収入はやや悪化する見込みであるが、営業利益は横ばいの見込みである。

④運賃水準

宅配貨物、一般貨物は横ばいの見込み。宅配以外の特積貨物は僅かに悪化の見込み。

⑤実働率等

実働率、実車率はやや水準を下げる見込み。雇用状況（人手の過不足）は僅かに不足、採用状況は横ばい、所定外労働時間も横ばいの見込みである。

保有車両台数は横ばい、貨物の再委託（下請運送会社への委託割合）は、僅かに水準を下げる見込み。

⑥地域別および取扱い品目別

業界の景況感を地域別にみると、東北は引き続き相対的に水準が良い見込み。九州は水準を下げ最も厳しい見込み。近畿、四国も低水準の見込み。

事業者の規模別では、中規模事業者、大規模事業者は横ばいであるが、小規模事業者ではやや水準を下げる見込み。

主な取扱い品目別では、今回改善がみられていた機械関連貨物が、水準を下げる見込み。

3. 特積貨物の概況

項目		概況						
		0%	20%	40%	60%	80%	100%	
宅	輸送数量	前回	0	17	43	30	9	(-30)
		今回	2	12	63	21	2	(-10)
		見通	2	6	77	13	2	(-8)
		<ul style="list-style-type: none"> ・前回より20ポイント改善した。 ・規模別では小規模事業者は前回からは改善している。 ・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。 						
配	営業収入 (売上高)	前回	0	17	35	39	9	(-39)
		今回	2	10	62	25	2	(-15)
		見通	0	8	77	13	2	(-10)
		<ul style="list-style-type: none"> ・前回より24ポイント改善した。 ・規模別では、小規模事業者、中規模事業者は前回から改善しているが、水準は低い。 ・今後はやや水準を上げる見込み。 						
貨	営業利益	前回	0	9	35	48	9	(-57)
		今回	4	10	65	19	2	(-6)
		見通	2	2	81	13	2	(-12)
		<ul style="list-style-type: none"> ・前回より51ポイント改善した。 ・規模別ではいずれも前回からは改善している。 ・今後は水準をやや下げる見込み。 						
物	運賃・料金の水準	前回	0	4	70	26	0	(-22)
		今回	0	4	88	6	0	(-6)
		見通	0	4	90	4	0	(-4)
		<ul style="list-style-type: none"> ・前回より16ポイント改善した。 ・規模別ではいずれも前回からは改善している。 ・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。 						

【調査の概要】


平成5年3月より開始、以降3カ月ごとに実施。第78回調査は、平成24年7月17日に、WEBモニターに対して調査開始。平成24年8月10日回収分までを集計。

	特積	一般	回答事業者 全体
回収数	88	581	589

※一部回答事業者の重複あり

項 目		概 況						
		0%	20%	40%	60%	80%	100%	
宅	輸送数量	前回	0	20	39	29	12	(-32)
		今回	2	17	47	30	4	(-16)
		見通	0	8	65	23	4	(-22)
配		<ul style="list-style-type: none"> ・前回より16ポイント改善した。 ・規模別では小・中規模事業者は前回からは改善しているが、大規模事業者はやや悪化している。 ・今後は水準をやや下げる見込み。 						
以	営業収入 (売上高)	前回	0	15	37	37	10	(-42)
		今回	2	12	47	33	6	(-28)
		見通	0	7	67	20	5	(-23)
外		<ul style="list-style-type: none"> ・前回より14ポイント改善した。 ・規模別では小・中規模事業者は前回からは改善しているが、大規模事業者は横ばいである。 ・今後はやや水準を上げる見込み。 						
の	営業利益	前回	0	10	34	44	12	(-58)
		今回	2	11	51	33	4	(-24)
		見通	1	4	69	22	5	(-25)
積		<ul style="list-style-type: none"> ・前回より34ポイント改善した。 ・規模別では特に小・中規模事業者は前回からは改善している。 ・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。 						
貨	運賃・料金の水準	前回	0	2	81	12	5	(-20)
		今回	0	5	84	10	1	(-7)
		見通	0	5	82	11	2	(-11)
物		<ul style="list-style-type: none"> ・前回より13ポイント改善した。 ・規模別では特に小規模事業者は前回からは改善している。 ・今後は水準を僅かに下げる見込み。 						

凡例

	大幅に増加・上昇・好転・人手不足 +2点 やや増加・上昇・好転・人手不足 +1点 横ばい 0点 やや減少・低下・悪化・人手過剰 -1点 大幅に減少・低下・悪化・人手過剰 -2点	(注1) 各グラフの上段は前回の状況、中段は今回の状況、下段は今後の見通しを示す。 (注2) 各グラフの構成比は四捨五入のため、合計が100にならない場合がある。
---	--	--

(注3) グラフ右のカッコ内は業況判断指標。指標は、各設問の回答に対し、増加・好転+1～+2、横ばい0、減少・悪化-1～-2の点数を与え、1事業者当たりの平均を100倍することにより算出している。

$$A \text{ (設問Aの回答者数)} = a_1 + a_2 + a_3 + a_4 + a_5 \text{ (設問Aの選択肢1～5の回答数の和)}$$

$$\text{指標} = \{ (+2 \times a_1) + (+1 \times a_2) + (0 \times a_3) + (-1 \times a_4) + (-2 \times a_5) \} \div A \times 100$$

4. 一般貨物の概況

項目	概況						
	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
輸送数量 (全体)	前回	3	24	35	30	9	(-19)
	今回	2	16	44	30	8	(-25)
	見通	1	13	50	29	7	(-28)
	<ul style="list-style-type: none"> ・前回より6ポイント悪化した。 ・地域別では中国が前回から改善し、四国は悪化している。品目別では建設関連の水準が低い。 ・今後は水準を僅かに下げる見込み。 						
営業収入 (売上高)	前回	2	21	34	34	9	(-25)
	今回	3	16	39	33	9	(-29)
	見通	0	13	46	33	7	(-34)
	<ul style="list-style-type: none"> ・前回より4ポイント悪化した。 ・域別では北陸信越、中国が前回から改善し四国が悪化している。品目別では建設関連が悪化しており水準も低い。 ・今後は水準をやや下げる見込み。 						
営業利益	前回	1	16	30	40	14	(-49)
	今回	2	12	39	36	10	(-41)
	見通	1	10	46	35	8	(-40)
	<ul style="list-style-type: none"> ・前回より8ポイント改善した。 ・地域別では東北、中国が前回から改善している。品目別ではいずれも改善しているが、建設関連の水準は低い。 ・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。 						
運賃・料金の水準	前回	0	4	72	21	4	(-24)
	今回	0	2	76	18	3	(-23)
	見通	0	2	73	22	3	(-25)
	<ul style="list-style-type: none"> ・前回より1ポイント改善した。 ・地域別では東北、九州、北陸信越が前回から改善している。品目別では消費・建設関連がやや改善している。 ・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。 						

5. 共通の概況

項目	概況						
	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
実働率	前回	1	17	50	26	6	(-18)
	今回	2	13	53	28	5	(-22)
	見通	0	10	58	28	4	(-27)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回より4ポイント悪化した。 ・ 地域別では東北、近畿が前回から改善している。品目別では建設関連が悪化し、水準も低い。 ・ 今後は水準をやや下げる見込み。 							
実車率	前回	1	17	53	24	5	(-15)
	今回	2	12	58	24	4	(-17)
	見通	0	10	60	27	3	(-23)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回より2ポイント悪化した。 ・ 地域別では東北、近畿が前回から改善している。品目別ではその他貨物が悪化し、建設関連は水準が低い。 ・ 今後は水準をやや下げる見込み。 							
雇用状況 (人手の過不足)	前回	5	26	58	10	1	(24)
	今回	4	19	68	9	1	(16)
	見通	5	22	61	11	1	(20)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回より8ポイント下降した（不足感が低くなった）。 ・ 地域別では東北、中国、四国、九州で水準が高く、不足感がある。品目別では消費関連の水準が高い。 ・ 今後は水準を僅かに上げる見込み。 							
採用状況	前回	0	9	73	15	3	(-12)
	今回	1	10	75	12	3	(-7)
	見通	0	10	75	11	3	(-7)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回より5ポイント改善した。 ・ 地域別では東北、九州で前回から改善している。規模別、品目別の全てでほぼ前年並みとなっている。 ・ 今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。 							
所定外労働時間	前回	1	10	69	18	2	(-10)
	今回	1	9	70	18	2	(-11)
	見通	0	8	72	17	2	(-13)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回より1ポイント悪化した。 ・ 地域別、規模別、品目別のすべてでほぼ前年並みとなっている。 ・ 今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。 							

項目	概況						
	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
保有車両台数	前回	1	11	71	16	1	(-6)
	今回	1	10	74	15	1	(-6)
	見通	0	8	77	13	1	(-7)
	<ul style="list-style-type: none"> ・前回からほぼ横ばいである。 ・地域別では東北が前回から改善し、水準も高い。規模別、品目別の全てではほぼ前年並みとなっている。 ・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。 						
貨物の再委託 (下請運送会社への 委託割合)	前回	1	15	63	17	4	(-8)
	今回	2	12	64	17	5	(-12)
	見通	1	10	66	18	5	(-16)
	<ul style="list-style-type: none"> ・前回より4ポイント減少した。 ・地域別では四国が前回から低下し、水準も低い。規模別には小規模事業者が前回から低下し、水準も低い。 ・今後は水準を僅かに下げる見込み。 						
経常損益	前回	1	16	31	42	10	(-45)
	今回	2	14	44	33	7	(-30)
	見通	1	12	47	34	7	(-34)
	<ul style="list-style-type: none"> ・前回より15ポイント改善した。 ・地域別では中国、東北、近畿が前回から改善している。品目別には、消費関連、機械関連が改善している。 ・今後は水準を僅かに下げる見込み。 						
業界の景況感	前回	0	13	33	44	10	(-49)
	今回	1	9	41	41	8	(-45)
	見通	0	7	44	42	8	(-50)
	<ul style="list-style-type: none"> ・前回より4ポイント改善した。 ・地域別では北陸信越、中国、中部が前回から改善している。品目別には、機械関連が改善している。 ・今後は水準をやや下げる見込み。 						

6. 事業者特性格別の特徴

事業者特性	特 徴																																								
①地域（注4）	<p>◆「業界の景況感」の業況判断指標の地方ブロック別順位◆</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24年 1～3月期前回</th> <th>H24年 4～6月期今回</th> <th>H24年 7～9月期見通</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1位</td> <td>東 北</td> <td>東 北</td> <td>東 北</td> </tr> <tr> <td>2位</td> <td>四 国</td> <td>中 部</td> <td>中 部</td> </tr> <tr> <td>3位</td> <td>関 東</td> <td>中 国</td> <td>北 海 道</td> </tr> <tr> <td>4位</td> <td>中 部</td> <td>北 海 道</td> <td>北 陸 信 越</td> </tr> <tr> <td>5位</td> <td>九 州</td> <td>九 州</td> <td>関 東</td> </tr> <tr> <td>6位</td> <td>北 海 道</td> <td>関 東</td> <td>中 国</td> </tr> <tr> <td>7位</td> <td>近 畿</td> <td>北 陸 信 越</td> <td>四 国</td> </tr> <tr> <td>8位</td> <td>中 国</td> <td>四 国</td> <td>近 畿</td> </tr> <tr> <td>9位</td> <td>北 陸 信 越</td> <td>近 畿</td> <td>九 州</td> </tr> </tbody> </table>		H24年 1～3月期前回	H24年 4～6月期今回	H24年 7～9月期見通	1位	東 北	東 北	東 北	2位	四 国	中 部	中 部	3位	関 東	中 国	北 海 道	4位	中 部	北 海 道	北 陸 信 越	5位	九 州	九 州	関 東	6位	北 海 道	関 東	中 国	7位	近 畿	北 陸 信 越	四 国	8位	中 国	四 国	近 畿	9位	北 陸 信 越	近 畿	九 州
	H24年 1～3月期前回	H24年 4～6月期今回	H24年 7～9月期見通																																						
1位	東 北	東 北	東 北																																						
2位	四 国	中 部	中 部																																						
3位	関 東	中 国	北 海 道																																						
4位	中 部	北 海 道	北 陸 信 越																																						
5位	九 州	九 州	関 東																																						
6位	北 海 道	関 東	中 国																																						
7位	近 畿	北 陸 信 越	四 国																																						
8位	中 国	四 国	近 畿																																						
9位	北 陸 信 越	近 畿	九 州																																						
②規模（注5）	<ul style="list-style-type: none"> ・業界の景況感は、規模が小さくなるほど水準が低い傾向にある。 																																								
③品目（注6）	<ul style="list-style-type: none"> ・消費関連貨物を扱う事業者では、前回と比べ景況感の水準を僅かに上げた。一般貨物の輸送量としてみると、日用品、特殊品の水準が相対的に低い。今後は水準をやや下げる見込み。 ・建設関連貨物を扱う事業者では、前回と比べ景況感の水準は、ほぼ横ばいである。一般貨物の輸送数量としてみると、林産品の水準が相対的に低い。今後の水準はほぼ横ばいの見込み。 ・機械関連を扱う事業者では、前回と比べ景況感の水準を上げた。一般貨物の輸送数量としてみると、輸送機械の水準が高く、電気機械は水準が相対的に低い。今後は水準を下げる見込み。 ・その他貨物を扱う事業者では、前回と比べ景況感の水準は、ほぼ横ばいである。一般貨物の輸送数量としてみると、石油製品、繊維工業品の水準が相対的に低い。今後は水準を僅かに下げる見込み。 <div style="text-align: center;"> <p>業界の景況感(品目別、前回からの指標の増減)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目別</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消費関連貨物</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>建設関連貨物</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>機械関連貨物</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>その他貨物</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> </div>	品目別	増減	消費関連貨物	3	建設関連貨物	2	機械関連貨物	17	その他貨物	2																														
品目別	増減																																								
消費関連貨物	3																																								
建設関連貨物	2																																								
機械関連貨物	17																																								
その他貨物	2																																								

(注4) 地域分類は地方運輸局管轄地域区分に基づく。

(注5) 規模別分類

大規模事業者：101両以上

中規模事業者：21両以上100両以下

小規模事業者：20両以下

(注6) 品目別分類

消費関連貨物：農水産品、食料工業品、日用品など

建設関連貨物：林産品、砂利、砂、石材、建設用資材、窯業品（セメント等）など

機械関連貨物：電気機械（家電含む）、輸送機械（自動車等）など

その他貨物：石炭、原油、石油、化学、紙・パルプなど

7. 景況感一覽表

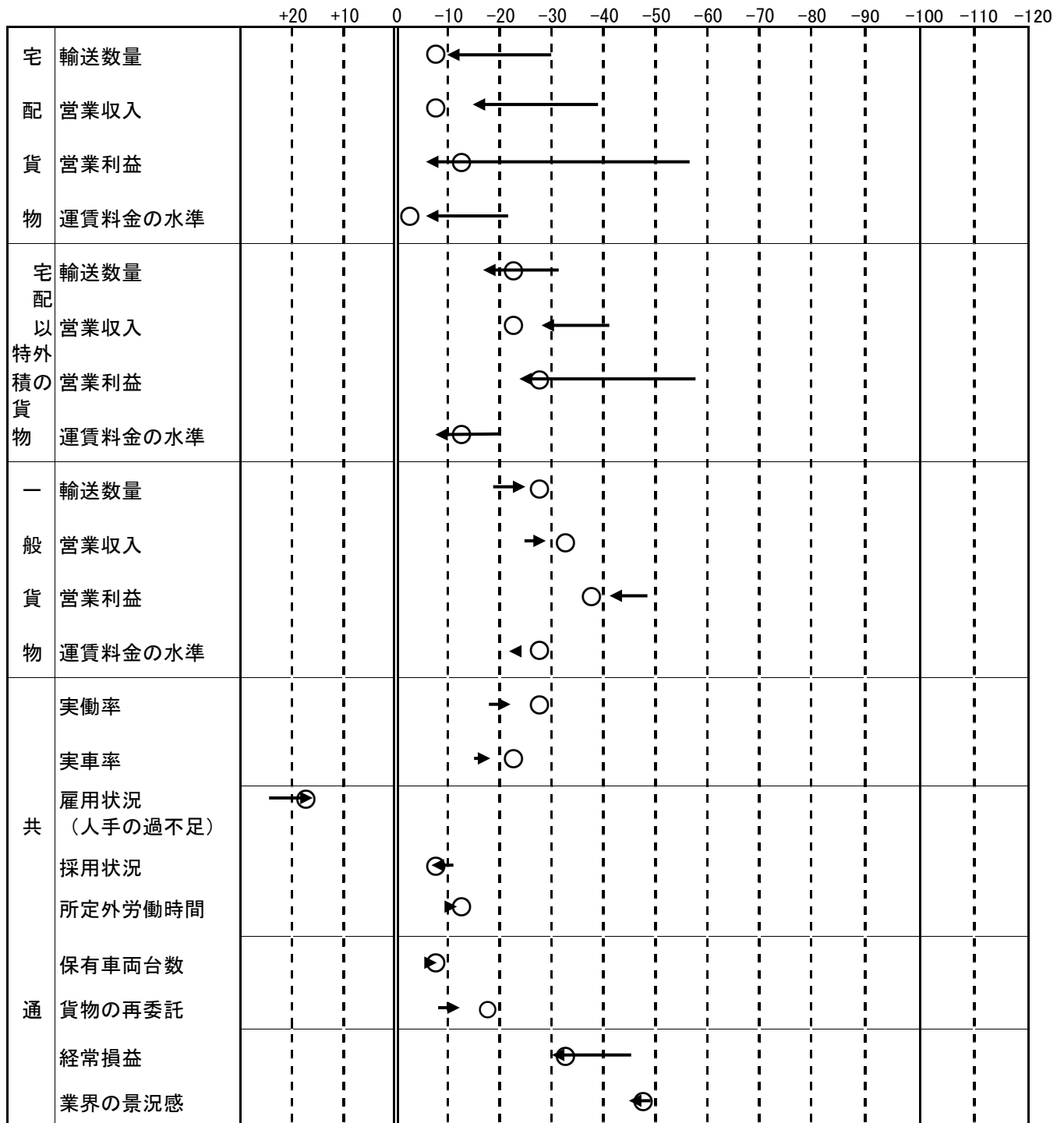
		特積貨物						一般貨物			雇用関連			総合計		
		宅配貨物			宅配以外の特積貨物											
全体		↘	→	→	↘	→	↘	↘	↘	↘	→	→	→	↘	→	→
地域	北海道	→	→	→	↘	→	→	↘	↘	↘	→	→	→	↘	↘	→
	東北	→	↗	→	↗	→	↘	→	→	→	→	↗	→	→	→	→
	北陸信越	↘	↘	→	↘	↓	↘	↘	↘	↘	→	→	→	↘	↘	→
	関東	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	→	→	→	↘	↘	↘
	中部	↓	→	→	↘	→	→	↘	↘	↘	→	→	→	↘	→	→
	近畿	↓	→	↘	↘	→	→	↘	↘	↘	→	→	→	↘	→	↘
	中国	↓↓	↗	↑	↘	→	↗	↘	↘	↘	→	→	→	↘	→	→
	四国	↗	↘	↘	↘	↘	↘	→	↘	↘	→	→	→	→	↘	↘
	九州	↘	→	→	↘	→	↘	↘	↘	↘	→	→	→	↘	→	↘
事業者規模	小規模事業者	↓	↘	↘	↓	↘	↘	↘	↘	↘	→	→	→	↘	↘	↘
	中規模事業者	↓	→	→	↘	→	↘	↘	↘	↘	→	→	→	↘	→	→
	大規模事業者	↘	→	→	↘	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
取り扱い品目	消費関連貨物	↘	→	→	↘	↘	→	↘	↘	↘	→	→	→	↘	→	→
	建設関連貨物	↘	→	→	↓	→	↘	↘	↘	↘	→	→	→	↘	↘	↘
	機械関連貨物	↓	→	→	↘	→	→	→	→	↘	→	→	→	↘	→	→
	その他貨物	→	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	→	→	→	↘	↘	↘

(注7) 各項目は、関連する判断指標（前年同期に対する水準）から平均値を算出。
貨物別については、輸送数量、営業収入、営業利益、運賃水準の平均値で判断。

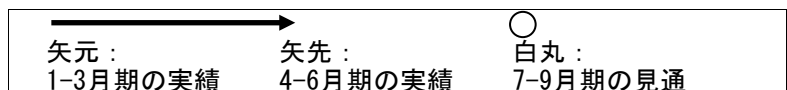
凡例 ・ 各欄は、左：前回（1-3月） 中央：今回（4-6月） 右：見通（7-9月）
・ 矢印と判断指数の対応

判断指数	… -100 …	… -60 …	… -20 …	… +20 …	… +60 …	… +100 …
矢印	↓↓	↓	↘	→	↗	↑

8. 業況判断指標の前回調査（平成24年1月～3月期）からの変化

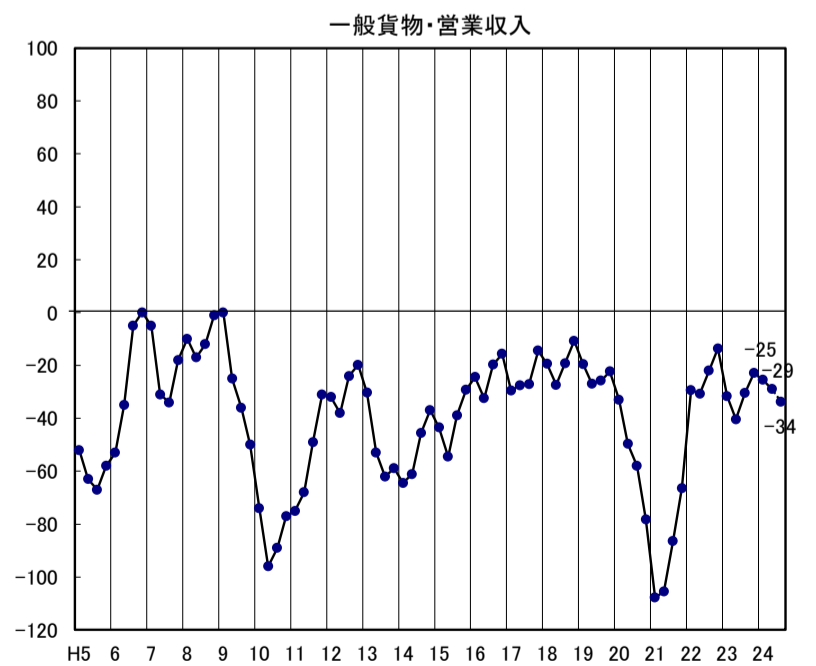
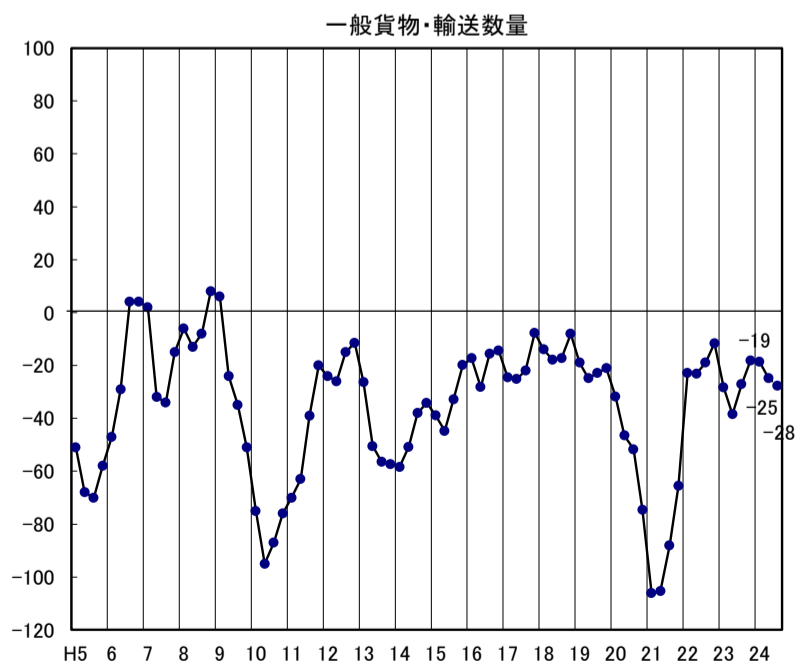
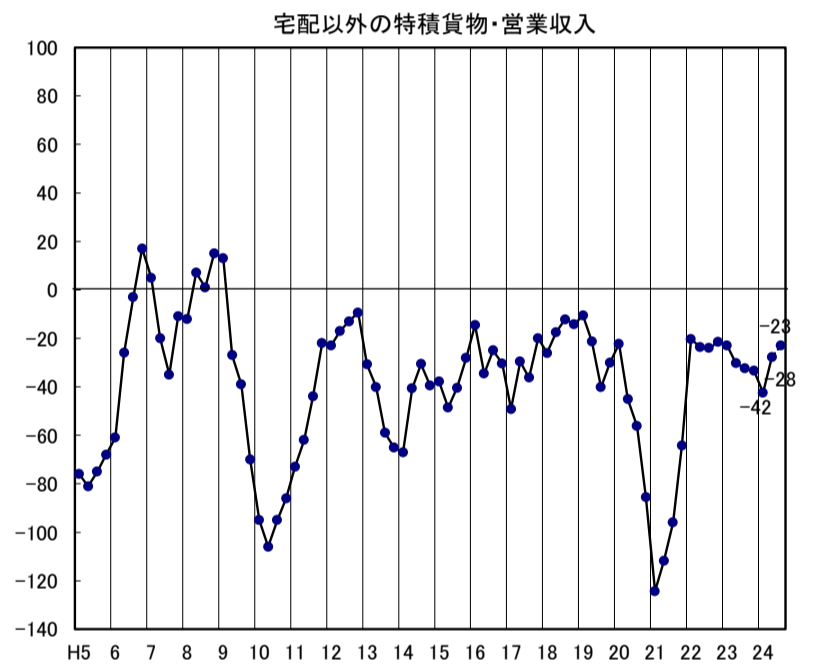
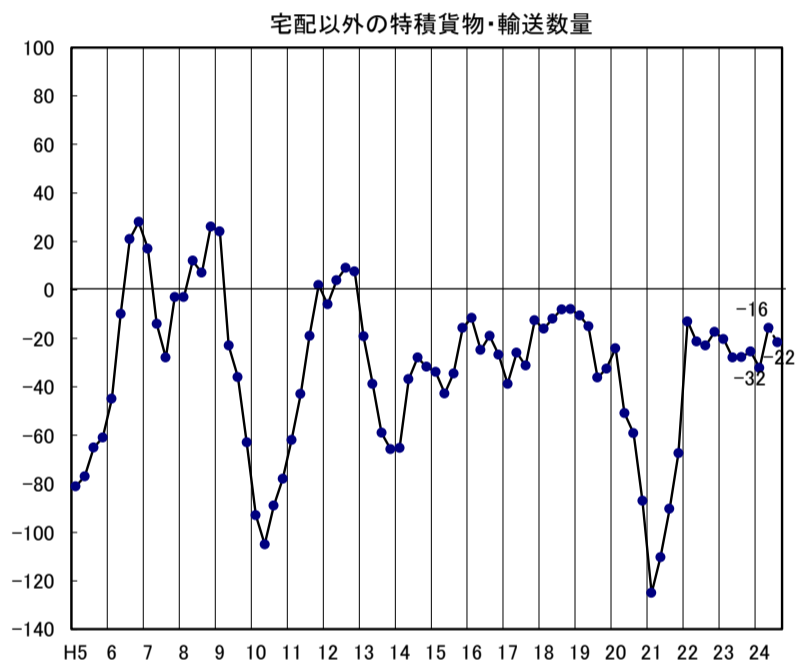
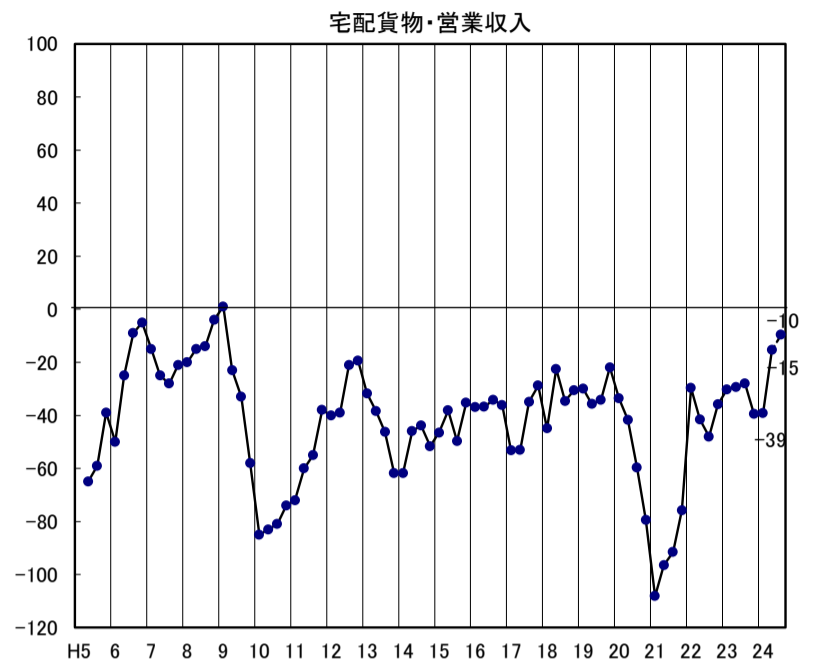
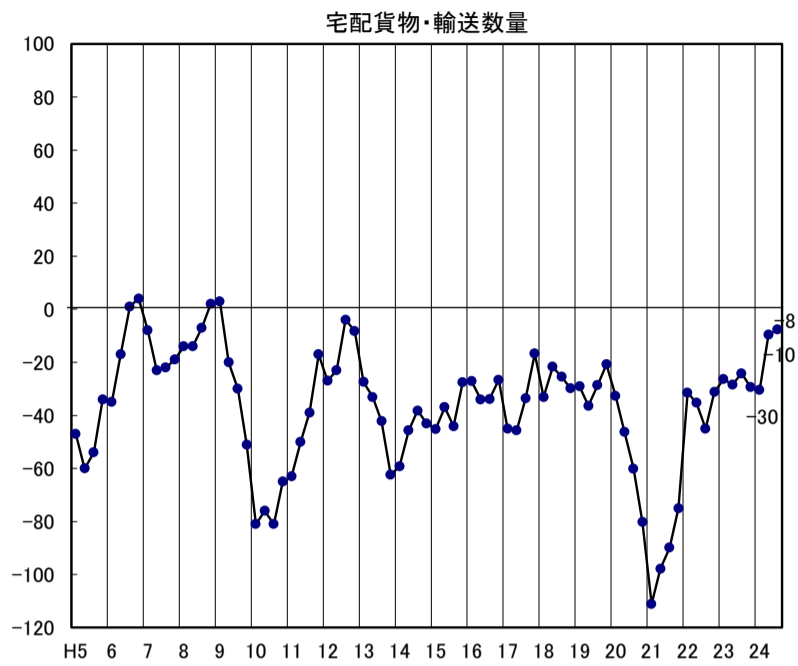


凡例



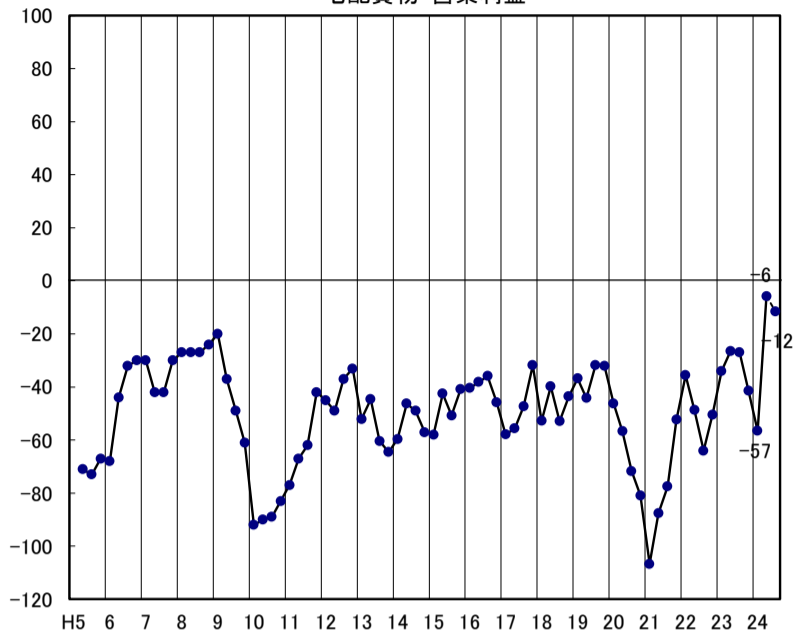
9. 業況判断指標の推移

平成5年第1四半期～平成24年第2四半期実績、平成24年第3四半期見通し

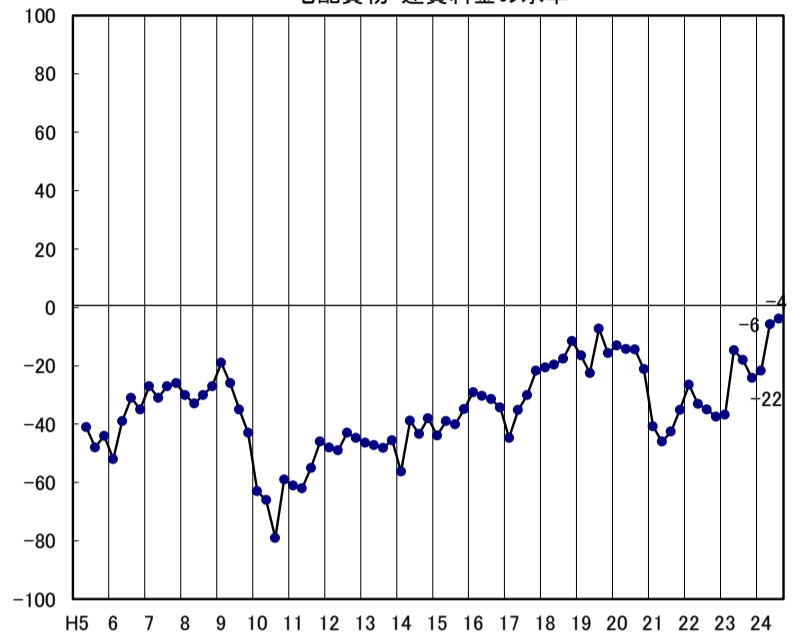


平成5年第1四半期～平成24年第2四半期実績、平成24年第3四半期見通し

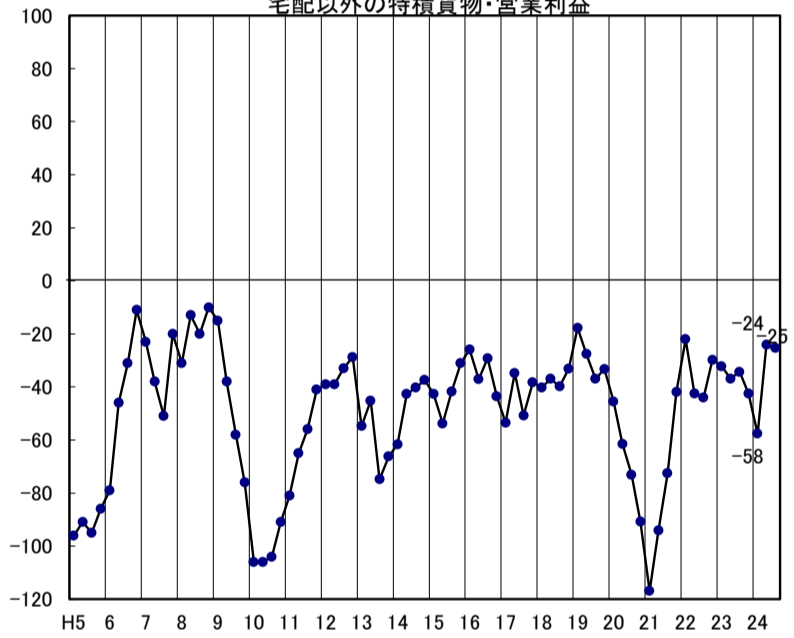
宅配貨物・営業利益



宅配貨物・運賃料金の水準



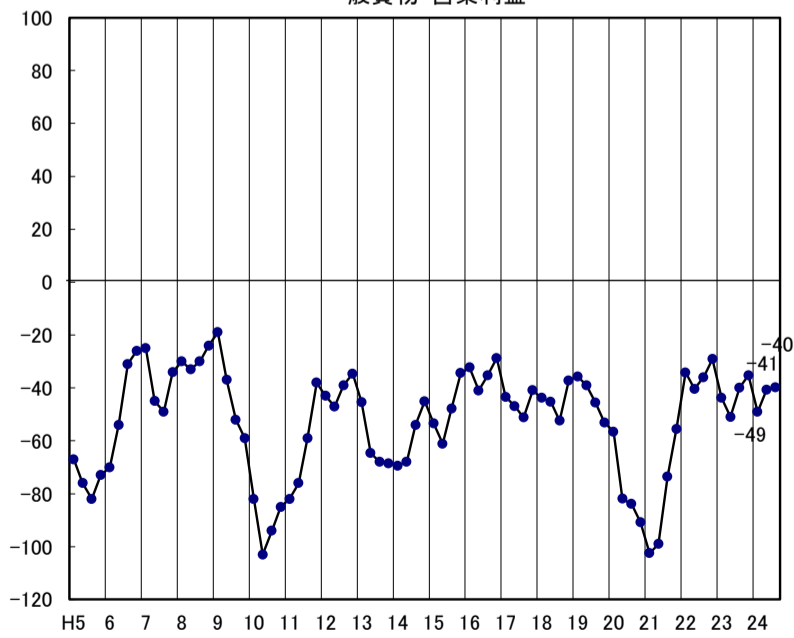
宅配以外の特積貨物・営業利益



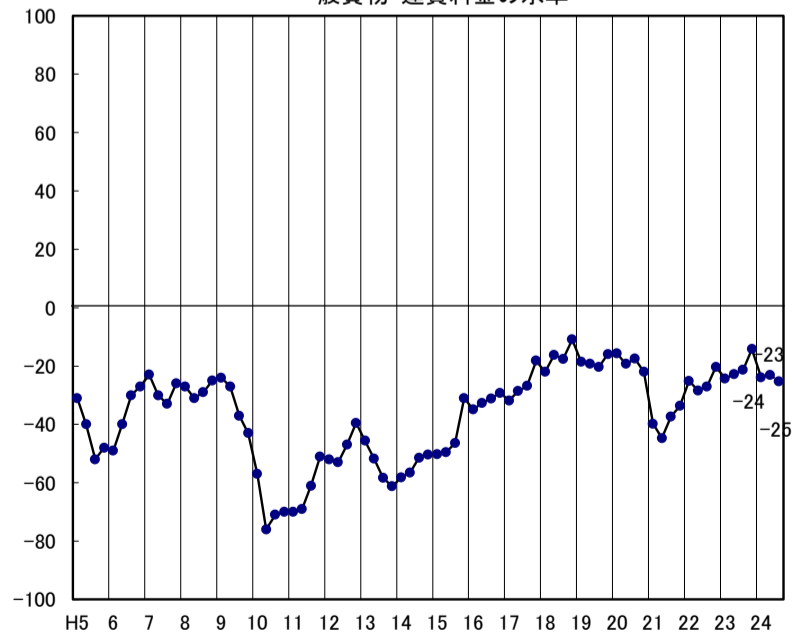
宅配以外の特積貨物・運賃料金の水準



一般貨物・営業利益

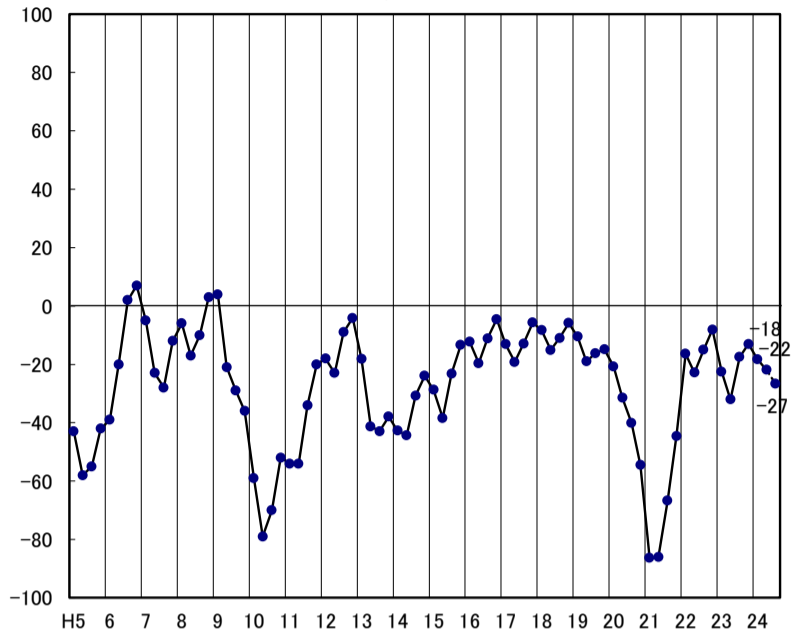


一般貨物・運賃料金の水準

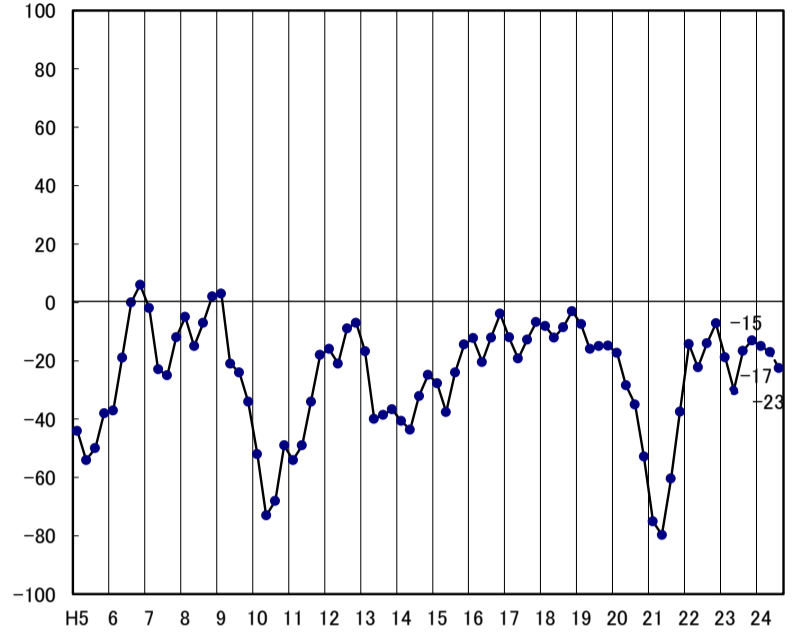


平成5年第1四半期～平成24年第2四半期実績、平成24年第3四半期見通し

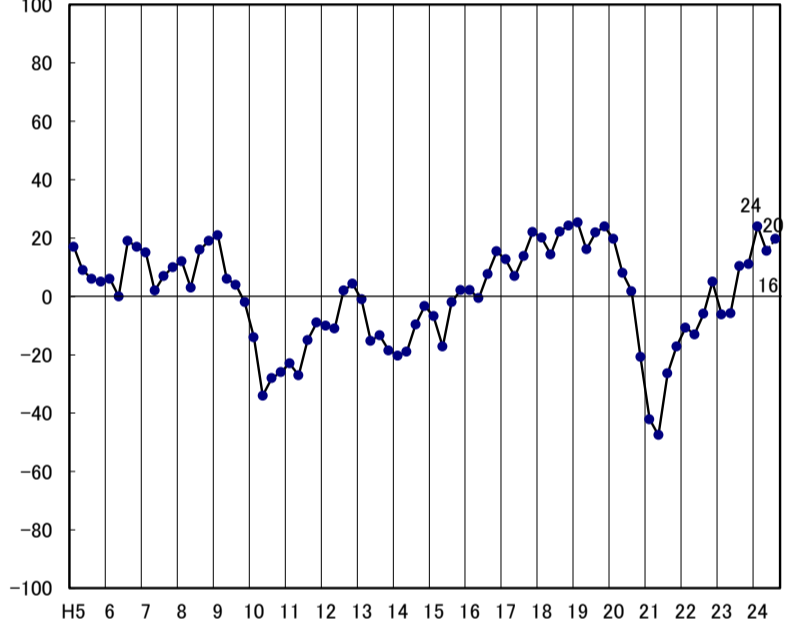
実働率



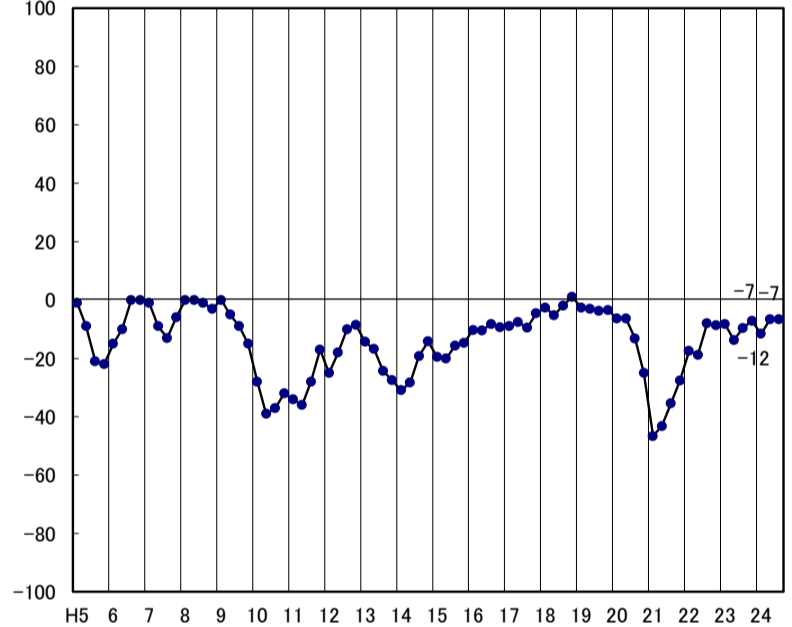
実車率



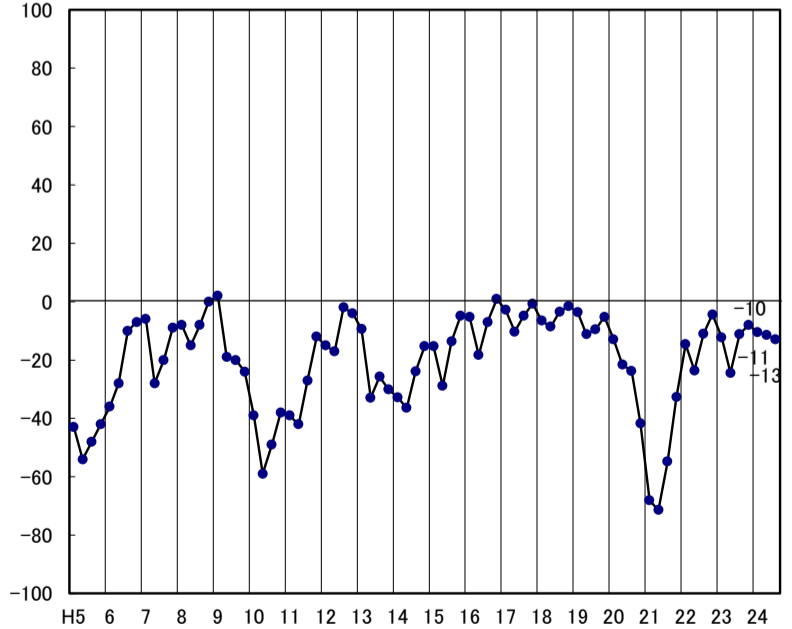
雇用状況



採用状況

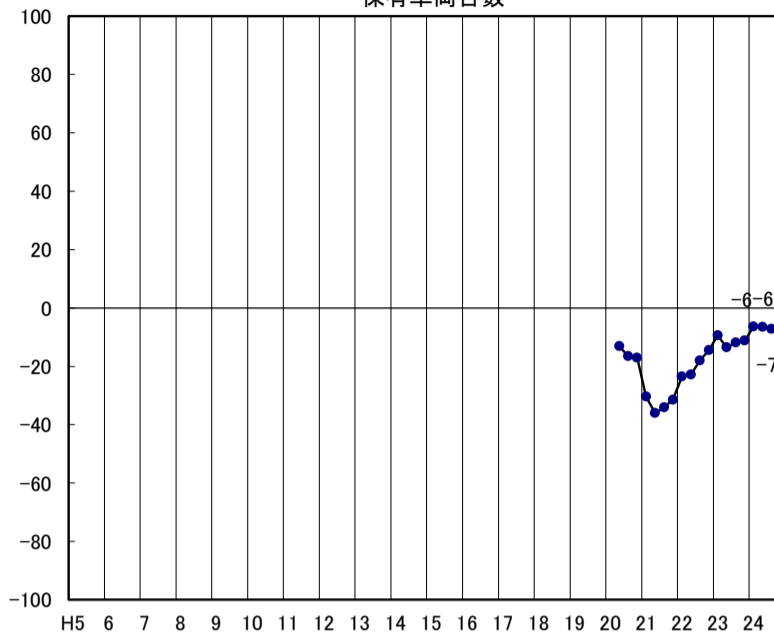


所定外労働時間

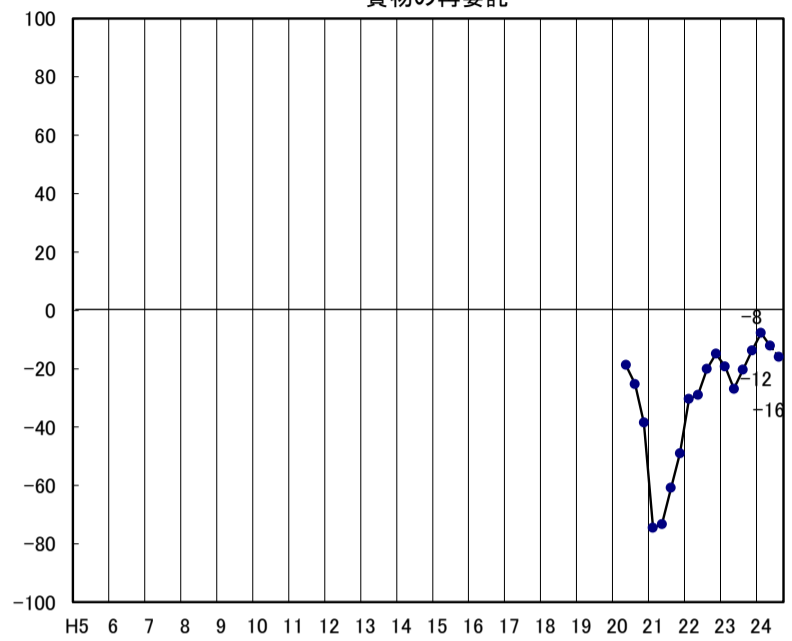


平成5年第1四半期～平成24年第2四半期実績、平成24年第3四半期見通し

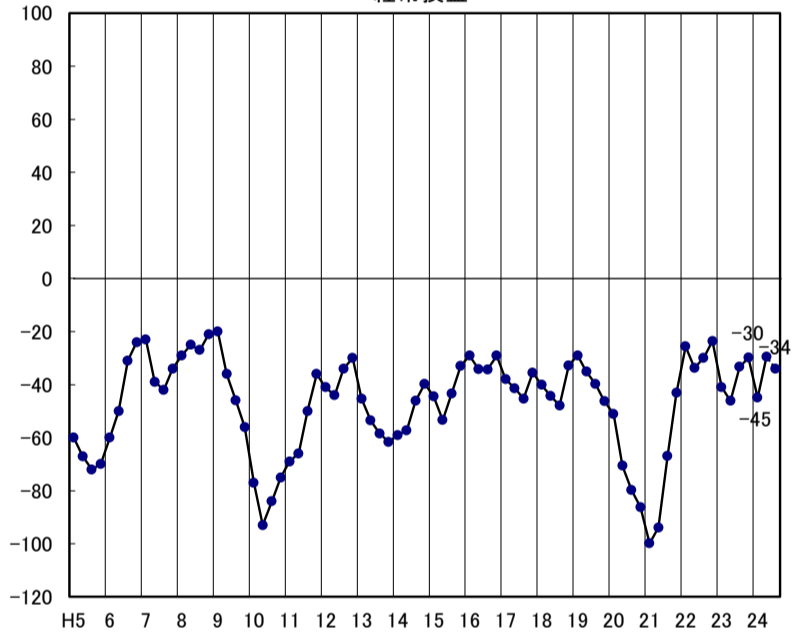
保有車両台数



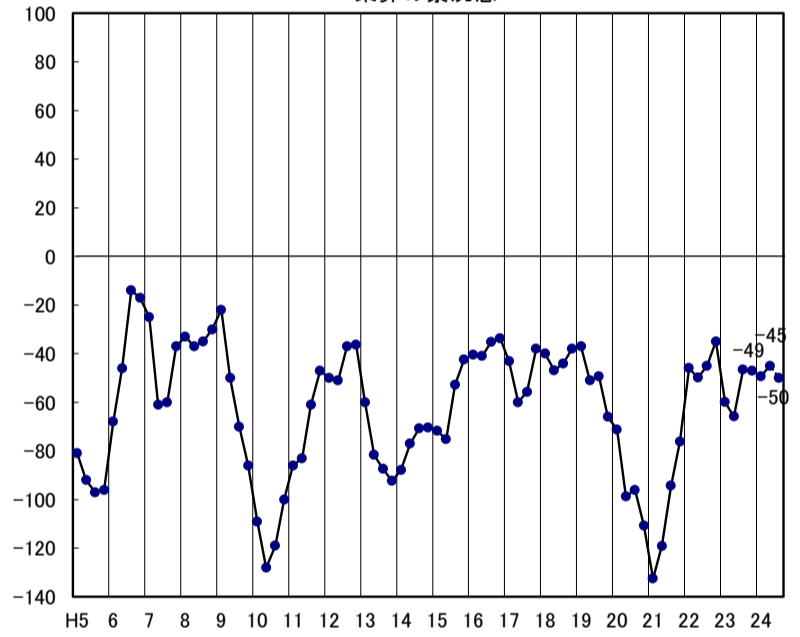
貨物の再委託



経常損益

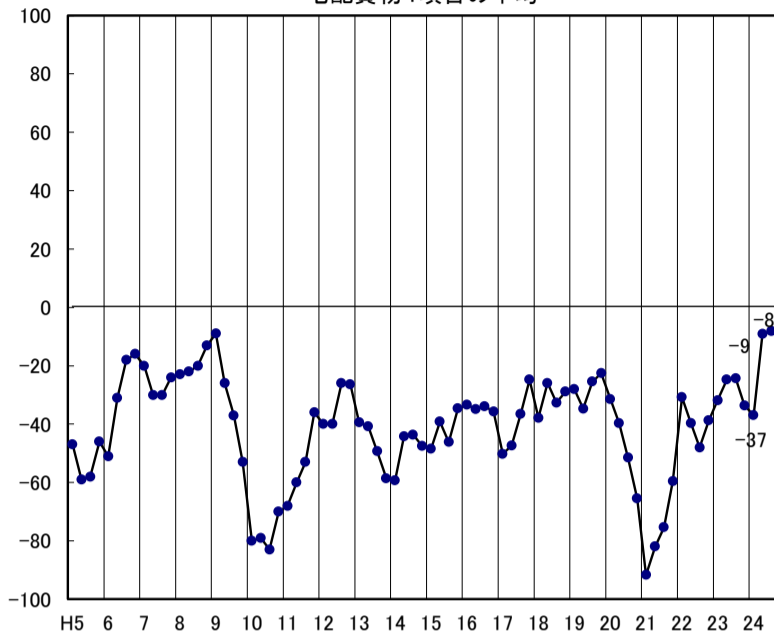


業界の景況感

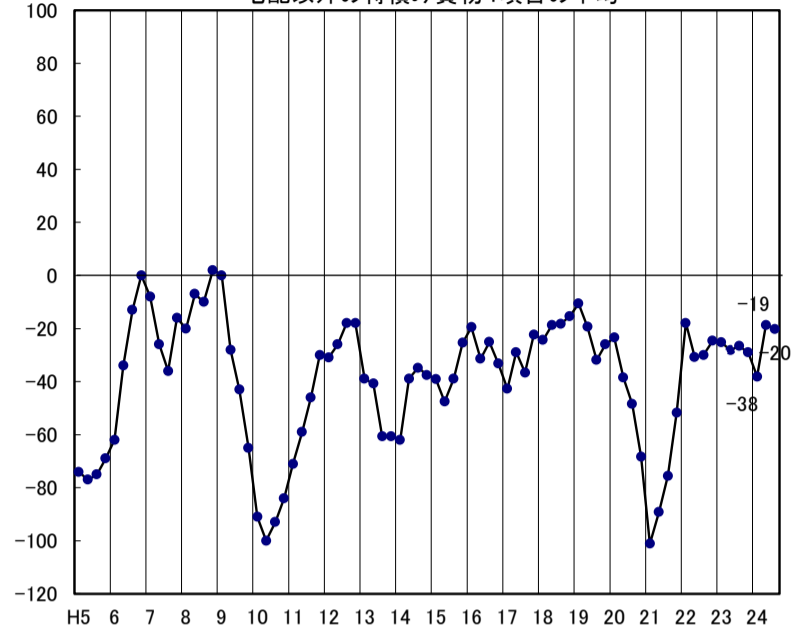


平成5年第1四半期～平成24年第2四半期実績、平成24年第3四半期見通し

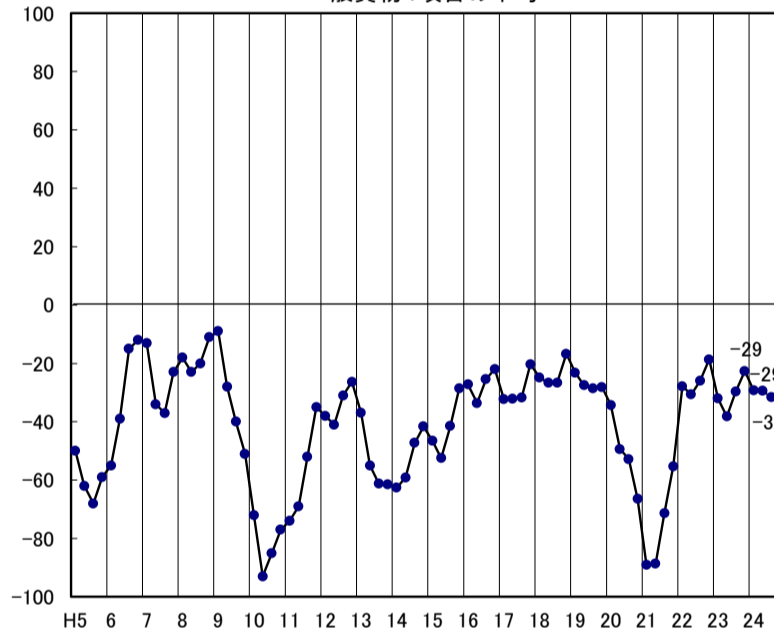
宅配貨物4項目の平均



宅配以外の特積み貨物4項目の平均



一般貨物4項目の平均



全項目の平均

